英雄ナポレオン

槇村浩

青空文庫

南欧の夜の更け行けば
空には清き星の数
銀河の影もたなびきて
風は香りて薫ばしき
月は折しも青く冴え
波も静けき海原に
俄に殺気みなぎりて
なびく異国の旗の影
沖の鴎も怪みて
水の上遠く飛び行けば
羽ばたきに散る水煙
銀月ゆらぐ春の海
東雲(シノノメ)の空月落ちて
残星光失へば
彼方に霞む紅の
雲を破って朝の風
天気に響く万歳に
馬に鞭あて英雄の
後に残すや砂煙
パリをさして急ぎ行く
暗雲低くたなびきて
雨濛々と降りしきり
彼方此方に旗の影
殺気漲(ミナギ)るワーテルロ
戦既におさまりて
屍積みし山の跡
流るゝ血汐河をなし
月物すごく照らすなり
沈み果てぬる勢は
西に傾く夕陽の
進退こゝに谷(キハ)まりて
身を其艦に託したり
艦は次第に沖の浪
いよ〳〵高くセーヌ湾
おゝ紫の山影よ
おゝ緑なる島の影
なつかしの国フランスよ
我は南の島守に
いざ永しへに別れなん
噫々我が祖国いざさらば
天を仰げど答ふなし
海に叫べど云ふ非ず
まぶたを伝ふ一雫
彼の心や如何ならむ
山は次第にうすれ行き
夜のとばりはフランスの
姿をやがて隠したり
白波の音も悲しげに
見る〳〵空はかきくもり

月は雲間に消え行きて
空に星なく海暗く
天も悲しむ夜半(ヨハ)嵐
月日は巡る小車の
しづのおだまきくりかへし
春は七度来れ共
セントヘレナに春ならず
さすが千古の英雄も
末期(マツゴ)の風に敵しかね
諸行無常の鐘の音と
共に散りしぞあはれなる
雷鳴空にとゞろきて
波ごう〳〵とすさまじく
風雨天地にあれ狂ひ
鬼哭(キコク)しう〳〵空暗し

（大正十三・一・七）

青空文庫情報

底本：「槇村浩全集」平凡堂書店
　　1984（昭和59）年1月20日発行
※著者が、高知市立第六小学校三年生、四年生のときの作品。謄写版刷りの、同校文集「蕾」から、底本に採録された。
※底本は新字旧仮名づかいです。なお促音の小書きは、底本通りです。
入力：坂本真一
校正：雪森
2014年7月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

英雄ナポレオン

槇村浩

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/